

ヒト由来のリン酸グリセリン酸ムターゼ1、組換え型

Cat. No. NATE-1647

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明

ホスホグリセリン酸ムターゼ（PGM）は、解糖系のステップ8を触媒する酵素です。これは、C-3からC-2へのリン酸基の内部移動を触媒し、3-ホスホグリセリン酸（3PG）を2-ホスホグリセリン酸（2PG）に交換します。この過程は、2,3-ビスホスホグリセリン酸中間体を介して行われます。これらの酵素は、補因子依存型（dPGM）または補因子非依存型（iPGM）の2つの異なるクラスに分類されます。dPGM酵素（EC 5.4.2.11）は約250のアミノ酸から構成されており、すべての脊椎動物や一部の無脊椎動物、真菌、細菌に存在します。iPGM（EC 5.4.2.12）クラスは、すべての植物や藻類、さらには一部の無脊椎動物、真菌、グラム陽性細菌に見られます。このPGM酵素のクラスは、アルカリフォスファターゼと同じスーパーファミリーに属しています。

別名 Pgam-1; PGAM1

製品情報

種	人間
由来	E. coli と N-末端で His タグに融合されました
形態	液体
製剤化	50 mM Tris、100 mM NaCl、pH 8.0、20% グリセロール中の0.5 mg/ml
EC番号	EC 5.4.2.1
分子量	30.9 kDa
純度	> SDS-PAGEによる90%
活性	>300 ユニット/mg
濃度	1 mg/ml
単位定義	1ユニットは、pH 7.6、37°Cで1分あたり1.0 μ moleの3-ホスホグリセリン酸を2-ホスホグリセリン酸に交換します。

保管・発送情報

保存方法 短期間（1~2週間）の保管は+4°Cで行ってください。長期保管の場合は、分注して-70°Cで保管してください。繰り返しの凍結/解凍サイクルを避けてください。